

第16回かがわ型グリーン・ツーリズム体験ツアー

「男木島自慢！食べて・歩いて・ミニ釣り体験ツアー」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記ツアーが平成25年7月13日（土）高松市男木島で開催され、8組19名の方に参加いただきました。

男木島では、まず漁師である会長から説明を受けながら、5人程の班に分かれて、生簀でミニ魚釣りを行いました。生簀に泳ぐ魚は、全て男木島の漁師さんが今回のために獲ってきたもので、アコウ、コブダイ、タイ、オコゼ、ベラ、モンゴウイカ、タコ、エイ、ヒラメ等、高級魚の名前を聞いた参加者から歓声が上がりました。

使用する釣り竿は、竹・たこ糸・釣り針で作ったシンプルなもの、大きな魚や、イカなど力の強い魚に引き負けると糸が切れてしまうため、コツを掴むまでが難しく、大人も子供も真剣に魚の泳ぎ方を観察して針をひっかけます。見事にイカを釣り上げたら、顔や服に墨をとばされてしまった子供達もいましたが、釣り上げた証拠と誇らしそうに服についた墨を笑顔で見せてくれました。

各人1匹以上を釣りあげた後、調理場で捌いて、刺身やお吸い物の具にして昼食の一品とさせていただきます。



「たこ飯」の調理体験では、漁協婦人部が最初に生きたタコを見せ、島のタコ漁について話した後、手分けして調理に取り掛かりました。調理中に、次々と「ミニ釣り体験」の釣果が追加されたため、生きた魚を目の前で捌いたり、希望者に捌き方の指導をする時には見学の人だけができるほど、にぎやかな調理体験になりました。

昼食は、体験で作った「タコ飯」を中心に、釣果の刺身、天ぷらや郷土料理の落花生の煮物など7品を食べて頂きました。釣果のイカや魚の刺身は記念写真を撮り、タコ飯やタコの天ぷらは、おかわりの希望が出るほど大好評で、島の郷土料理「落花生の甘煮」にも珍しいと注目が集まりました。ほぼ全員が完食し満足していただけたようです。



昼食後は、灯台まで散策する班と、港周辺を散策する班に分かれて島を満喫しました。灯台班は、民宿「テルミの宿」の松下さんから島周辺のガイドを受けながら、片道40分の道のりをゆっくりと歩きます。港周辺班は、漁協組合女性部の方々の話を聞いたり、無理をしない距離で島のアートを見学してまわりました。

散策後、再び港の生簀で、お土産用の魚を釣り、コツをつかんだ子供たちの手で各種の魚が釣り上げられました。持ち帰る魚を真剣に選んだり、魚の名前と料理方法についてメモを取るのに、会長が丁寧に答えたりと、最後まで楽しい交流の時間がすごせたようでした。

